

1. 概要

この資料は下記の製品について、変更点を提示します。

- ・ TrustBind/Federation Manager IDP Edition
- ・ TrustBind/Federation Manager SP Edition
- ・ TrustBind/Federation Manager OP Edition
- ・ TrustBind/Federation Manager RP Edition

2. 変更内容

2.1. 全製品共通

- (1) **【対応 OS (Red Hat Enterprise Linux) のアップデート】**
 - ・ Red Hat Enterprise Linux の 8 系に対応しました。
- (2) **【サードパーティライブラリの更新】**
 - ・ log4j の 2 系対応に加えて、そのほかのライブラリを更新しました。
- (3) **【パッケージの整理】**
 - ・ お客様ニーズに合わせて製品ラインナップの整理を行いました。

2.2. TrustBind/Federation Manager IDP Edition、 TrustBind/Federation Manager OP Edition、 TrustBind/Federation Manager RP Edition 共通

- (1) **【SpringFramework のアップデート】**
 - ・ SpringFramework の 5 系に対応しました。

2.3. TrustBind/Federation Manager IDP Edition、 TrustBind/Federation Manager OP Edition

- (1) **【パスキー対応】**
 - ・ Google および Apple などのプラットフォームが提供するパスキーに対応しました。
- (2) **【RDB 化対応】**
 - ・ 多要素認証機能のサブ認証機能についてデータストアに RDB を使用できるように対応しました。
 - ・ ユーザ管理機能で RDB を使用できるように対応しました。
- (3) **【パスワード管理の強化】**
 - ・ RDB 使用時においてパスワードの RDB 格納時のハッシュアルゴリズム (SHA256,

SSHA256)を追加しました。

(4) 【FID02 サーバ機能の MDS3 対応】

- ・ MDS2 廃止に伴い、MDS3 に対応しました。